

IV-13 透析アミロイドーシス

透析アミロイドーシスと慢性炎症指標 (CI index)との関係

[研究分担者] 氏名: 西 慎一 1)

所属: 神戸大学大学院腎臓内科・新潟大学大学院腎臓内科

[共同研究者] 氏名: 黒田毅2)、和田庸子2)、中野正明3)、
大澤 豊4)、恵 以盛5)、大森 健太郎6)、

所属: 神戸大学大学院腎臓内科¹⁾

新潟大学大学院医歯学総合研究科内部環境医学講座腎・膠原病内科学分野²⁾、新潟大学医学部保健学科³⁾、新潟臨港病院⁴⁾、山東第二医院⁵⁾、大森内科医院⁶⁾

[目的]

透析アミロイドーシス(HDA)の発症には透析歴に伴い増加する。その背景に、炎症・酸化ストレスの関与が疑われている。そこで、HDA診断基準による診断された症例、あるいはHDAの臨床症状と、炎症・酸化ストレス指標との関連を検討した。

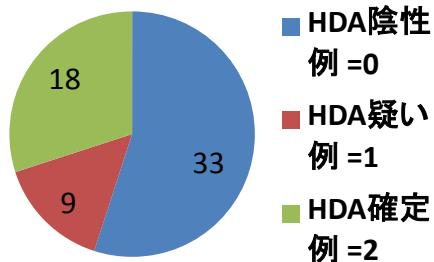
[方法]

厚生労働省アミロイドーシス研究班により作成されたHDA診断基準に基づき、HDA確定群、疑い群、非HDA群における炎症・酸化ストレス指標を次の式で求め比較検討した。

$$CI\ 1 = CRP \times \text{ferritin} \div \text{Alb} \text{ (アルブミン)} \times 100$$

$$CI\ 2 = CRP \div \text{Alb} \times 100$$

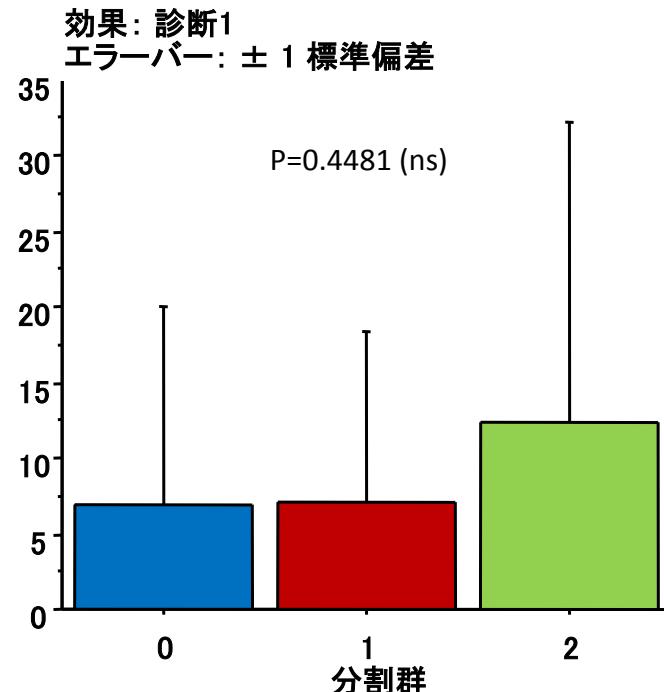
IV-13 透析アミロイドーシス



結果と結論

厚生労働省アミロイドーシス研究班で作成した透析アミロイドーシス (HDA) 診断基準と、慢性炎症指数との関連をみると、HDA確定群の慢性炎症指標が高い傾向が認められた。HDA発症の背景に慢性炎症（炎症・酸化ストレス）が関与していると推測された。

交互作用棒グラフ : CIindex 1= CRPx ferritin / Alb



交互作用棒グラフ : CIindex 1= CRPx ferritin / Alb

